

2024(令和6)年度 部局マニフェスト
～私たちの組織使命と目標～

部局名	農業委員会事務局
役 職	事務局長
氏 名	福山 朋宏
連絡先	0595-22-9720(内線2560)



業績目標の標語(指導者評価)
目標としていた達成水準を上回る成果を出した(100%超)
目標としていた達成水準に到達した(100%)
わずかに目標の達成水準に達しなかった(90%以上100%未満)
目標の達成水準には届かなかった(60%以上90%未満)
目標の達成水準までは遠い結果となった(60%未満)
目標達成のための取り組みが見られなかった

業績目標	表題	現状や課題	達成水準 (どこまでできれば達成したといえるか)	達成状況 (自己評価)	理由
◎部局目標1	関連の施策・基本事業No. —	〈これまでの経緯〉 毎月の役員会での委員会組織運営の方向性を協議、月例総会で農業委員に報告をする。同総会で各委員から提起された諸問題に対する意見交換会を実施している。 〈取り組み目的〉 各委員の業務をサポートし、委員に課された任務を達成しやすい環境を整える。 〈現状分析〉 農業者の高齢化、人口減少が本格化し、地域の農地が適切に利用されなくなる懸念がある。 〈課題〉 地域がめざすべき将来の具体的な農地利用の姿が明確化されていない。	〈目標数値〉 農業の担い手への農地集積について、現在の38.2%から41%を目標に推進する。 〈達成された状態〉 地域農業のまとめ役の一端を担い、農地利用の最適化に貢献できる。 〈手段・工程〉 現在の農業委員主体の情報提供・意見交換会を、年次総会時や研修会を開催して、全委員への情報共有を行う。メールやFAX等を利用した活動記録簿の提出を指導し、月平均5日以上活動日数となる委員が過半数を超えるようサポートを行う。	▶	
◎部局目標2	関連の施策・基本事業No. —	〈これまでの経緯〉 人・農地プランを策定済みの地区には、地域計画策定に関する説明会を開催した。他地区へには地域計画策定の基礎となる「協議の場」の開催を依頼し、当局を含む関係団体が訪問を行っている。 〈取り組み目的〉 担い手への農地等の利用の集積・集約化 〈現状分析〉 地域計画策定に係る目標地図(素案)の作成を進めている。 〈課題〉 農地所有者の営農意欲及び農業への関心の低下。不在地主や土地持ち非農家の増加。	〈目標数値〉 地域計画策定に係る目標地図(素案)を、35計画策定する。 〈達成された状態〉 地域計画が策定され、地域の農地が担い手に集積される。 〈手段・工程〉 地域で開催される「協議の場」に委員が補佐を目的に随行する、農地の現地確認等を支援して目標地図(素案)の策定をサポートする。	▶	